

## 鴨川ごみ問題に関するアンケート結果（鴨川を美しくする会）

|         |                   |                   |
|---------|-------------------|-------------------|
| 実施日時・会場 | 8/ 5（土） - 6（日）    | 鴨川納涼（鴨川三条から四条河川敷） |
|         | 8/ 19（土）          | カモシネマ 18（葵公園）     |
|         | 9/ 1（金） -11（月）    | 中京区役所区民ホール（中京区）   |
|         | 11/ 5（日）          | 鴨川定例クリーンハイク（北山大橋） |
|         | 10/20（金） -11/6（月） | 京阪三条駅北口コンコース（東山区） |
| ※実施中    | 12/19（火） -27（水）   | 京都府立植物園ホール（左京区）   |

## ① 鴨川美化活動について

- ・参加するまで河川美化活動がある事を知らなかった。今後も継続的に必要だと思います。
- ・今年は河川美化活動に2回参加させて頂きました。この美しい鴨川の景色を後世に渡すためにも、美化活動の継続を引き続きお手伝いさせて頂きます。
- ・私も参加したいなと思った。京都のきれいな景色は鴨川あってこそだと思う。
- ・小学校教員です。鴨川が近いこともあり、総合的な学習の時間に「鴨川の生き物のすみやすい環境」について、探究してきました。子どもたちは、自分たちの身近な鴨川に何度も足を運ぶ中で、ごみが落ちている。ごみがあると生き物が食べてしまって命を落としてしまうかもしれないと思い、鴨川の清掃をすることにしました。子どもたちが家族で鴨川に行くときには、「ごみを拾って帰ろう」や、「自分の出したごみは持ち帰ろう」と考えている姿がありました。この思いを大切にしてほしいと思っています。
- ・河川美化活動は大変良い事だと思います。今後も続けていき、皆で京都の鴨川を美しく残していきたいと願っています。
- ・鴨川は京都のシンボルの川。いつまでも美しい水流で景観を保ってほしいと思います。
- ・京都の町をより良くしようという気持ちや訪れる人にとって印象が良くなることにもつながるのでとてもありがたい。
- ・観光地京都の景観を守り、環境に配慮するという点で大変素晴らしい事。どうしてもごみの投棄は止まないの、誰かが実行しないと無くならないのが現実と思うので、こういう活動は大変有難いし、我々も環境の事を考えるきっかけになります。
- ・外国人観光客が興味を持たれていたの、参加できる仕組みがあったらと感じました。
- ・大変素晴らしいことだと思いますが、鴨川沿いだけに目がいってしまって、その上の歩道の方がおろそかになっていると思います。
- ・天理教の「ひのきしん」として月に1回、奉仕させて頂きたいです。
- ・全体参加者を増やし、少人数で回数を増やすべきではないか
- ・ポイ捨て禁止の看板等の設置場所も、もっと増やした方がよいのでは？

## ②鴨川ごみ問題について

- ・雑草と落ち葉が多い所には、ごみが捨てられ易い印象を受ける。ごみを減らす為にも、雑草と落ち葉を減らした方が良いと思う。
- ・場所によっては、キレイな場所が多いので、ここまでごみ問題がある事を知りませんでした。京都はキレイな町のイメージがあったので、これからの事を考えると、1人1人が町をキレイに“使う、”という思いが大切であると考えさせられました。
- ・清掃活動なさっているのは、よくボランティアでなさっていたり、参加したこともあります。家庭の汚れは浄化して流れるようになってきていると思うのですが、ごみがいつまでたってもなくならないのは心外です。
- ・ごみが魚を襲うから海にも流れるし魚が食べられなくなる。
- ・2016年頃～2019年頃にかけて、土・日曜日の早朝にかけて自主的に河川敷を清掃していたことがあります。三条大橋西詰のお寺の方が、回収ごみを厚意で受け入れて下さり、感謝しています。今後も、そのような活動ができるよう「回収ステーション」の設置を強く望みます。
- ・鴨川の近くにごみ袋を常時置いておくこと。自覚を持って各自、心がけできれいになる様心がけたい。
- ・ごみ箱の設置個数が少なすぎる。そのためその辺にごみを捨てる人がいる。コンビニ等でビニール袋が有料化されているので、食べた後や飲んだ後のごみをその場に捨てる人が多いと思います。
- ・ごみ箱、空き缶入れの設置の増強、また観光都市京都をウリにしている為、いかにクリーンかつ環境に配慮した町作りが出来ることが重要。できる事はシンプルにごみ箱を増やして、ごみはごみ箱へという当たり前の事を徹底させる事に尽きます。祇園祭のホコ天の時の様に、週一(日曜だけでも)で良いのでボランティアによるごみ捨てキャンペーンやスタッフを配置させてみてはどうかと思う。
- ・ごみ箱のなくなったのは日本では10数年前から。これは国内事情でこうなったが、これは国際的にみて、少数派かも知れない。各国の事情でごみに対する考え方が異なる内でどう対応するのが大事。日本で公の場のごみが減ってきたのはここ数年の話。
- ・ごみを捨てる人いるからごみが増える。1人1人が気をつけるのがいい。努力！！
- ・コンビニのお弁当、酒が多いようなので、コンビニ側もいづらか責任を持って対応したほうがよいと思います。
- ・お酒を鴨川付近で飲む習慣や、平気でポイ捨てをする人々がいることで、どれだけ定期的にキレイにしている、改善されることはゼロに近いと思うので、まずは1人1人が京都の環境を守るという意識を持たねばと思いました。でも鴨川に集まる習慣を、すべて規制してしまうと街の活性化が止まってしまうので難しい問題だと思いました。
- ・行き過ぎはいけないと思いますが、罰金制度を作ったらいいと思います。

- ・ 諸外国同様罰金規制を設けて、厳格に運用する。
- ・ なぜごみを捨てるのかは分からないけど、捨てる行為は犯罪だと思います。
- ・ きれいな所にはごみは捨てるににくいと思います。ごみを捨てる人が悪いとは思いますが、ポイ捨て等をしにくいよう、きれいにしておく事も大切かと思います。
- ・ 清掃活動をもっと見える形に！
- ・ 定期的にごみ拾いを行う。
- ・ 御蔭橋より西賀茂橋がごみが多い。西賀茂橋迄の美化活動をよろしく願う。
- ・ 先日の新聞で鴨川のごみが先月より7割減になったと報道されていたが、単に寒かったので、川べりで飲食する人が減っただけ。3月～暖かくなれば、人も増えてごみも増えてくる。今から対策考えないとイタチごっこになりますよ。
- ・ 鴨川のロケーションに合う装飾したカメラを要所に設置して抑止力にする。(雰囲気尊重する)。
- ・ 市民、区民への広報に目につくようアピールして、鉄道各社に車内、駅掲示の継続した取り組みに協力してもらおう。
- ・ みんなが取り組むべき。
- ・ 本当につらい。
- ・ まずはごみを失くして、ごみを捨てづらいと思う町をつくる。

### ③その他

- ・河川美化活動に参加して良かったです。
- ・「ごみはごみ箱へ。」この当たり前の行動をもう一度、見直そうと思います。これからもこの活動を多く広く行なっていって下さい。いつも鴨川をキレイにして下さってありがとうございます。
- ・鴨川の四季、今出川通、丸太町通の橋からみる景観は「京都ってええなあ」と癒されます。いつまでも美しい川で。
- ・やめて下さい(ポイすて)
- ・自分にできることがあれば、していきたいです。
- ・魚が元気で過ごせるように、ぼくも出来ることをしていきたいです。
- ・がんばってください
- ・いつも楽しく参加させていただいております。この活動がいつまでも続くことを願っております。ありがとうございます。
- ・こういうアンケートとかを置いておくことで、少しでもみんなの目にとまれることができると思うので、最高だと思います♪
- ・地元の人より観光客の対策が必要だと思います。
- ・行政はボランティアに頼りすぎている。それから各団体や個人が勝手にごみ拾いをやっているの、1時間に3チームぐらいがごみ拾いに来たり、3日間ぐらい誰も拾いに来なかったり、もう少し組織的に活動されることを望みます。
- ・鴨川は、京都市民、府民のみならず観光客の間接的な資産と考える。外からの観光客にも例えば宿泊代とともに名称をかかげて税を徴収し、ごみ問題への資金形成を考えるべきではないか。
- ・いつもごみ捨て処理の活動ご苦労様です。
- ・改札外にトイレをつくってもいいんじゃないかなあ？と思いました。
- ・日本は海外に比べて町中のごみ箱が少ないそうです。ごみ箱増やす事はできないのでしょうか？手で回収するよりは良いと思うのですが
- ・私は昭和38年頃まで先斗町に住んでいた。鴨川は静かできれいだった。人は全然いなかった。夏の夜となれば、新内流しが三味線と共に鴨川の土手を歩いていた。鴨川の流れも穏やかで、当時中学校に通っていた私は、毎日鴨川を歩いて通学したものでした。但し三条迄しか行けなかったなあ。毎日鴨川に兜をつけて通学したのが楽しかった。休み時間にドッジボールをして鴨川にボールが落ちて、四条大橋まで取りに行って授業に遅れたこともしばしばあった。でも先生は決して怒らなかった。私の青春はそんなもんで、でも鴨川は美しかった。今の鴨川に誰がした。

(自由記載：回答数 30)





京阪三条駅北口コンコース会場(10/20-11/6)



鴨川定例クリーンハイク北山大橋会場(11/5)



# 京都の鴨川にごみ放置、どう思いますか？ 市民団体が写真展示とアンケート

2023年10月31日 6:15



保存



印刷



鴨川河川敷に放置されたごみの写真ポスターと市民に募るアンケート（京都市東山区・京阪三条駅）

ごみが放置されている鴨川の現状を知ってもらおうと、市民団体「鴨川を美しくする会」が、ごみの写真ポスター展示と改善策を市民とともに考えるアンケートを、京阪三条駅（京都市東山区）で始めた。

同会は、河川敷のごみを広範囲で拾い歩くクリーンハイクや、ごみが特に多い三条～四条大橋間の深夜清掃に取り組む。先月からは京阪電鉄や府、市と協力して河川敷のパトロールも始めた。

写真ポスターは、2年前から始めた深夜清掃で見つかったごみを撮影。酒やビールの空き缶、菓子袋、たばこの吸い殻が散乱している様子が分かる。アンケートは、鴨川の美化活動についての意見やごみを減らすアイデアを募っている。駅事務所そばの掲示板に設置した。

事務局長の杉江貞昭さん（78）は「汚いごみの写真を見せるのはためらったが、鴨川の危機を伝えたかった。アンケートの意見は、今後の活動に生かしたい」と話している。

11月6日まで。12月19～27日には府立植物園（左京区）で同様の写真パネル展とアンケートを行う。